

アオスジアゲハ

最近、アオスジアゲハを頻繁に見かけます。子供のころからなれ親しんだ蝶なので、しばらく何とも思わなかったのですが、ン、まてよ、ずいぶん久しぶりじゃないか、と考えるのでした。あまり自信はありませんが、三次に越してきて以来、初めて見るような気がします。皆さんはこれまでに見たことありますか。



フレントリ館においてある昆虫の標本箱には、ほかのアゲハ類はそろっているのに、アオスジアゲハだけがありません。実際、ダム工事前の、1980 年代の調査では、アオスジアゲハが記録されていません。ただし、90 年代の学術調査団による調査では、記録されていました。おそらく、灰塚近辺では少ない蝶なのでしょう。

アオスジアゲハの幼虫がクスノキの葉を食べて育つことは、よく知られています。クスノキは、この辺では見かけたことがありません。疑問に思い、インターネットで調べてみたら、クスノキ科の植物ならけっこういろいろ食べるようで、「庭のゲッケイジュに産卵しました」というページも出てきました。灰塚近辺に自生するクスノキ科の植物としては、シロダモやヤマコウバシなど、数種類があるので、アオスジアゲハがいても不思議ではないのですが、南方系の蝶なので、標高が高くなるにしたがって少なくなるようです。